

がん教育に係る取組状況

北海道教育庁学校教育局健康・体育課

1 北海道の外部講師派遣状況【資料1】

- がん教育外部講師リスト掲載施設等からの外部講師派遣状況

2 学校におけるがん教育の充実のための取組

- がん教育実践校
 - ・ 別海町立中春別中学校
 - ・ 北海道本別高等学校
- 外部講師活用協力校
 - ・ 雄武町立雄武中学校
 - ・ 北海道千歳高等支援学校

- 実践校の指導計画【資料2】

- 学校におけるがん教育の手引【資料3】

- オンデマンド教材【資料4】

- ・ がん患者さんの「生活の質」を考えよう 自分らしく生きること
(医療法人溪仁会 手稲溪仁会病院 がん看護専門看護師)
- ・ がんの予防と検診について
(北海道保健福祉部健康安全局地域保健課がん対策係)

3 その他

- がん教育研修会等でのアンケート結果及び意見【資料5】

資料1

がん教育外部講師リスト掲載施設等からの外部講師派遣状況

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
掲載施設等数	23	23	23	32	38	37
派遣依頼のあった施設等数	13	4	8	12	17	20
複数回派遣依頼のあった施設等数	10	2	3	7	10	10
校種別派遣数 (小学校)	11	1	4	6	11	44
(中学校)	2	1	4	6	9	17
(高等学校)	3	4	3	6	5	8
(特別支援学校)	0	0	0	1	2	2

1

がん教育外部講師リスト掲載施設等からの外部講師派遣状況

各施設から派遣した講師の職種

	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
医師	7	0	4	6	11	13
看護師・ がん専門看護師	7	2	3	5	9	9
医療ソーシャル ワーカー	1	1	0	2	2	2
臨床心理士	1	1	1	1	1	0
がん経験者	2	3	0	2	1	1
がん専門相談員	2	0	0	1	2	1
保健師	1	0	1	0	0	1
薬剤師					1	0
理学療法士						1

【資料 2】

別海町立中春別中学校 第2学年 「保健体育科 保健分野 健康な生活と疾病の予防」 指導計画

単元名	内容のまとめ
生活習慣病などの予防	健康な生活と疾病の予防②
単元の目標	
(1) 【知識及び技能】 - 健康な生活と生活習慣病などの予防について、理解することができるようにする。 (2) 【思考・判断・表現】 - 生活習慣病などの予防に関わる事象や情報から自他の課題を発見し、生活習慣病などのリスクを軽減したり、生活の質を高めたりする視点から解決方法を考え、適切な方法を選択するとともに、それらを伝え合うことができるようにする。 (3) 【学びに向かう力、人間性等】 - 生活習慣病やがんなどの予防について、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。	

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①運動不足, 食事の量や質の偏り, 休養や睡眠の不足, 喫煙, 過度の飲酒などの不適切な生活行動を若い年代から続けることによって, やせや肥満, 心臓や脳で動脈硬化が起こること, 歯肉に炎症等が起こること, 歯を支える組織が損傷することなど, 様々な生活習慣病のリスクが高まることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。	①生活習慣病の予防における事柄や情報などについて, 原則や概念を基に整理したり, 個人生活と関連付けたりして, 自他の課題を発見するとともに, 習得した知識を活用し, 生活習慣病を予防するための方法を選択している。	①生活習慣病やがんなどの予防について, 課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。
	②生活習慣病は, 日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり, 適切な対策を講ずることにより心臓病, 脳血管疾患, 歯周病などを予防できることについて理解したことや, 生活習慣病を予防するには, 適度な運動を定期的に行うこと, 毎日の食事における量や頻度, 栄養素のバランスを整えること, 喫煙や過度の飲酒をしないこと, 口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。	②生活習慣病などの予防について, 疾病等にかかるリスクを軽減し健康を保持増進する方法を考え, 選択した理由などを他者と話し合ったり, ノートなどに記述したりして, 筋道を立てて伝え合っている。	
	③がんは, 異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり, その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。		
	④がんの予防には, 生活習慣病の予防と同様に, 適切な生活習慣を身に付けることなどが有効であることについて, 理解したことを言ったり書いたりしている。		

指導と評価の計画					
時間	ねらい、学習活動	知	思	態	評価方法
1 生活習慣病の起り方	- 生活習慣病は、運動不足、食事の量や質の偏り、休養や睡眠の不足などの生活習慣の乱れが主な要因となって起こることを理解できるようにする。 (1) 自己の生活を振り返って生活習慣をチェックし、気付いた点などを話し合う。 (2) 教科書資料1などから、知っている生活習慣病を発表する。 (3) さまざまな生活習慣病とその主な原因について調べる。 (4) 資料2, 3を基に、心臓病、脳卒中、歯周病などの生活習慣病の起り方を整理する。 (5) 学習したことを整理し、ワークシートにまとめる。	①		①	観察・ワークシート ワークシート (授業後)
2 生活習慣病の予防	- 生活習慣病の多くは、適切な運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活を実践することによって予防できることについて調べ、わかったことやまとめことを発表し、実生活に生かそうとする。 (1) 見つける:「メタボ」について、思い浮かべることを話し合う。 (2) 生活を振り返ったり、資料1を基にしたりして、生活習慣病の予防に必要なことを整理する。 (3) 教科書の資料4を基に、生活習慣病を予防するための社会の取り組みについて調べ、整理する。 (4) 活用する:事例へのアドバイスを考え、発表する。 (5) 学習したことを整理し、ワークシートにまとめる。	②			観察・ワークシート ワークシート (授業後)
3 がんという病気	- がんの発生・進行の仕方、要因や種類、日本の現状について、知っていることを交流した上で正しい知識を調べ、理解できるようにする。 (1) 外部講師による講話の内容も含めて、がんについて学んだことや自分が知っていることやイメージなどを出し合う。 (2) がんに関する疑問に関する知識を全体で確認する。 (3) 疑問の中で不明だった部分について、教科書や「がん教育推進のための教材」からがんの発生の仕方や要因について調べ、整理する。 (4) 各グループで、調べて整理した内容を発表する。 (5) 学習したことを整理し、自身の生活習慣を振り返る。	③		①	観察・ワークシート 観察・ワークシート (授業後)
4 がんの予防	- 前時で学習したことを踏まえて、がんの予防に適切な生活習慣の改善方法や早期発見、治療・回復の方法について調べ、わかったことやまとめたことを実生活に生かそうとする。 (1) 教科書の資料3を基に、がんの予防法について考え、話し合う。 (2) 資料4を基に、がんの早期発見と回復について考え、話し合う。 (3) 資料5と旧12か条を比較しながら、生活習慣の改善の工夫について考え、交流・発表する。 (4) 身近な人にがん検診を受けてもらえるような「標語」、「キャッチフレーズ」を考え、全体で交流する。 (5) 学習したことを整理し、ワークシートにまとめる。	④	②		観察・ワークシート ワークシート (授業後)

※「主体的に学習に取り組む態度」については、単元全体で評価していくため「破線」で区切っている。

本時の指導案（3／4時間）			
本時の目標	- がんの発生・進行の仕方や要因，種類と日本の現状について，知っていることを交流した上で正しい知識を調べ，理解できるようにする。【知識・技能】 - 生活習慣病やがんなどの予防について，自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとすることができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】		
段階	○学習内容と学習活動	形態	○教員の指導と支援，◆評価規準と方法
はじめ 導入 8分	○ 号令		
	1 前時の講師による講話の内容を振り返り，学んだことや自身のイメージ，認識を確認しながら共有する。	個人～全体	○ 前回の講話の内容や現在の自身のがんに関する知識や認識について，生徒と確認しながら振り返る。（Teams の PPT 資料）
	2 がんの発生・進行の仕方，要因や種類，日本の現状に関して，現状の知識を確認する。	全体	○ 本時で生徒が整理し，理解すべきがんに関する知識について，問いの形で提示する。（PPT 資料）
	①健康な体がどうなることががんという？ ②どんなところにでき、どのように進行する？ ③日本人はどれくらいなっている？ ④原因や要因はなに？		
なか 展開 35分	○ 本時の課題を把握する。	全体	
	課題 がんの発生・進行の仕方，種類や要因，日本の現状は，どのようなものだろうか？（調べて，整理しよう）		
			○ PPT 資料の中で，本時の課題を提示する。
	3 教科書や「がん教育推進のための教材」などを活用してわからなかった内容について調べ，整理する。	グループ	○ グループニングの指示を出し，調べるための資料と内容を整理するためのワークシート（Teams の PPT）について説明する。後期の学級組織の4つ係で活動する。
	○ グループごとに分担して調べた内容をワークシートに整理し，発表の準備をする。		○ 全グループが①発生の仕方，②種類や進行の仕方，③日本の現状，④要因やリスクを高める生活行動について調べる。 各グループに①～④から1つずつ発表する内容を割り当てる。
	◆ 生活習慣病やがんなどの予防について，課題の解決に向けた学習に自主的に取り組もうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】（観察）		
	4 がんについて調べた内容について，割り当たった内容を発表し，交流する。	全体	○ 各グループが整理した PPT 資料を TV 画面で共有する。
	◆ がんは，異常な細胞であるがん細胞が増殖する疾病であり，その要因には不適切な生活習慣をはじめ様々なものがあることについて，理解したことを言ったり書いたりしている。 【知識・技能】（ワークシート 授業後にも）		

お わ り ま と め 7 分	5 学習したことを振り返り，ワークシートにまとめる。 ○ 本時の課題に対するまとめを考え，記述する。特に，自身の生活習慣について気を付けるべきものを考える。 ○ 次時の学習内容を確認する。 ○ 号令	個人	○ 個人のワークシートに、穴埋め形式で要点を記入する。(PPT) ※時間を見て，数名のまとめを全体で共有する。 ○ 次回は，がんの予防と早期発見・治療のために必要な生活行動について学習することを説明する。
---	---	-----------	---

※準備物：TV，タブレット PC，PPT の資料とワークシート

【高等学校】 入学年次 「保健体育科（科目保健）」の指導計画

単元名	内容のまとめり
生活習慣病の予防と回復	(1) 現代社会と健康
単元の目標	
(1) 【知識及び技能】 - 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見及び社会的な対策が必要であることについて理解することができるようにする。 (2) 【思考力、判断力、表現力等】 - 生活習慣病などの予防と回復に関する情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなどと、課題の解決方法を関連付けて考え、適切な活用方法を選択し、説明することができるようにする。 (3) 【学びに向かう力、人間性等】 - 生活習慣病などの予防と回復について、自他や社会の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。	

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の評価規準	①生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であることを発言したり書いたりしている。 ②生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが重要であることを発言したり書き出したりしている。 ③がんには、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることを発言したり書いたりしている。 ④生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを発言したり書いたりしている。	①生活習慣病などの予防と回復について、習得した知識を基に自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策について、整理している。 ②がんについて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	①生活習慣病などの予防と回復について、課題の解決に向けた学習活動に関心をもち主体的に取り組もうとしている。

指導と評価の計画（全5時間）					
時間	主な学習活動	知	思	態	評価方法
1	1 生活習慣病の種類、要因、予防、発見など基本的な知識について調べ、スライドにまとめて発表する。	①			・観察 ・学習シート ・canva
2	1 定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて理解する。 2 がんの種類や原因、回復、治療法、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることについて説明を聞く。 3 がん患者が働きやすい職場環境についてグループで考える。	②	①		・観察 ・学習シート
3	1 がんに対するイメージや理解度を把握する。 2 がん経験者の方の動画を見て、講話において講師に聞きたい質問内容を考える。	③			・学習シート ・フォーム ・canva ・がん理解度チェックシート
4 (本時)	1 がん経験者の講話を聞き、がんの実態について理解する。 2 がん経験者へ疑問点を質問する。 3 講話を基に、がん患者にできる言葉かけや行動について考える。 4 講話の事前事後でのがん患者への対応について比較をする。 5 がんについての理解度を確認する。		②		・canva ・観察 ・がん理解度チェックシート
5	1 前時で学習したことを踏まえて、生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて調べ、わかったことやまとめたことを実生活に生かそうとする。	④		①	・観察 ・学習シート

本時の指導案（4／5時間）			
本時の目標	・がんについての講話を通して習得した内容を基に、がんを自分事として捉え、がんと共に生きることについて自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できるようにする。【思考力、判断力、人間性等】		
段階	学習内容と学習活動	学習形態	教師の指導と支援（◆評価規準と方法）
導入（5）	1 前時を振り返る。 ・テキストマイニングを見る。	全体	○前時の講師のがん発病までのムービーについて触れる。
	2 本時のねらいを確認する。	全体	
	がんと共に生き、どう向き合うか考えよう。		
展開（40）	3 講師の紹介を聞く。	全体	○がんにかかる割合、がんによる死亡率を提示することで、がんと共に生きることについて説明する。 ○講師の紹介をする。
	4 講話を聞く。	全体	○がん発病から今までのことに事前の質問内容にも触れながら講話をしてもらう。
	5 事前に生徒が考えた質問を直接講師に質問する。	全体	○講師と生徒の1対1の対話にならないように、全体で内容が共有できるようにする。
	6 グループで話し合い、課題についてそれぞれ意見を入力する。 <u>(canva)</u>	グループ	○「今あなたががんになったら、誰に相談しますか。またどんな言葉かけや支援をしてもらいたいかな考えよう」（発問）
	◆ <思・判・表②> ・がんについて、自他や社会の課題の解決方法とそれを選択した理由などを話し合ったり、ノートに記述したりして、筋道を立てて説明している。【観察】【canva】		
	7 発表をする。（2名程度）	全体	○canva に出た内容をテキストマイニングに取り込み、生徒に提示する。
	8 グループで話し合った内容と講話前の内容のテキストマイニングを比較し、変化について考える。	全体	○テキストマイニングを表示して比較し、変化に気づかせる。
まとめ（5）	9 講師の総括を聞く。		○グループ活動の内容にも触れて総括してもらう。
	10 本時の内容の振り返りを行う。	全体	○classroomにあるフォームから振り返りをさせる。

工夫のポイント
・前時に講師から、がん発病までについてのムービーを視聴させ、本時で話す内容についての余白を残すことで、生徒に興味をもたせて質問を考えさせる。本時では質問の内容も参考にして講師に発病後について話してもらう。 ・オンラインでも講師と生徒の双方向性を確保するために、前時のムービー、事前の質問の共有、講話、本時の質問、グループ活動の共有、総括を通じてやりとりする機会を確保する。 ・ホワイトボードアプリを使用して、グループ活動での協議を講師とリアルタイムで共有し、生徒の活動の様子について把握してもらう。 ・がん経験者に対して自分ができることについて、テキストマイニングを使用して視覚的にわかりやすく生徒に提示することで、授業前と授業後の変化に気づかせる。

I 学校におけるがん教育の進め方

I 学校におけるがん教育の基本的な考え方

がん教育の定義

がん教育は、健康教育の一環として、がんについての正しい理解と、がん患者や家族などのがんに向き合う人々に対する共感的な理解を深めることを通じて、自他の健康と命の大切さについて学び、共に生きる社会づくりに寄与する資質や能力の育成を図る教育。

(1) 学校におけるがん教育の目標

① がんについて正しく理解することができるようにする

がんが身近な病気であることや、がんの予防、早期発見・検診等について関心をもち、正しい知識を身に付け、適切に対処できる実践力を育成する。また、がんを通じて様々な病気についても理解を深め、健康の保持増進に資することと示されています。

② 健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにする

がんについて学ぶことや、がんに向き合う人々と触れ合うことを通じて、自他の健康と命の大切さに気づき、自己の在り方や生き方を考え、共に生きる社会づくりを目指す態度を育成することと示されています。

(2) がん教育の具体的な内容

ア	がんとは何か（がんの要因等）	イ	がんの種類とその経過
ウ	日本におけるがんの現状	エ	がんの予防
オ	がんの早期発見・がん検診	カ	がんの治療法
キ	がんの治療における緩和ケア	ク	がん患者の「生活の質」
ケ	がん患者への理解と共生		

【内容の取り扱い】

- ・ア～ケの内容を適宜関連付けて、理解できるようにする。また、それぞれの内容を関連付けて、一次予防（生活習慣の改善等）、二次予防（がん検診等）について理解できるようにする。
- ・現在及び将来に直面するがんに関する課題に対して、適切な思考・判断を行い、自らの健康管理や健康的な生活行動の選択ができるようにする。
- ・がん教育の二つの目標を達成するために、がんを通して健康や命のかけがえのなさに気づき、がん患者や家族などのがんに向き合う人々の取組に関心をもつとともに、健康な社会の実現に努めることができるように留意する。

2

II 外部講師を活用したがん教育の進め方

I 外部講師活用のための基本的な考え方

がん対策推進基本計画（令和5年3月） 第4節

4（3）がん教育及びがんに関する知識の普及啓発

（現状・課題）

こどもが健康と命の大切さについて学び、自らの健康を適切に管理するとともに、がんに対する正しい知識、がん患者への理解及び命の大切さに対する認識を深めることが大切である。これらをより一層効果的なものとするため、医師やがん患者・経験者等の外部講師を活用し、こどもに、生活習慣や遺伝子等のがんの発生に関する基本的な情報も含めたがんの正しい知識やがん患者・経験者の声を伝えることが重要である。

国は、学習指導要領に対応したがん教育を推進するため、教材、指導参考資料、外部講師活用ガイドラインの改訂・周知を行うとともに、外部講師の活用体制の整備や研修会の実施など、地域の取組を支援している。しかし、地域によって取組状況に差があることから、地域の実情に応じた取組が一層推進されるよう、各地域の取組の成果を全国へ普及させる必要がある。

（取り組むべき施策）

国は、都道府県及び市町村において、教育委員会及び衛生主管部局が連携して会議体を設置し、地域のがん医療を担う医師や患者等の関係団体とも協力しながら、また、学校医やがん医療に携わる医師、がん患者・経験者等の外部講師を活用しながら、がん教育が実施されるよう、必要な支援を行う。国及び地方公共団体、拠点病院等を中心とした医療機関は、患者やその家族等の関係団体等の協力を得ながら、国民に対する、生活習慣や遺伝子等のがんの発生に関する基本的な情報も含めたがんに関する正しい知識の普及啓発に引き続き取り組む。その際には、啓発資料のデジタル化や対象者に応じた周知方法の工夫等により、より効果的な手法を用いる。

各学校においてがん教育を実践するに当たっては、がんに関わる多様な人材が参画し、それぞれの専門性や経験を十分に活用しながら指導を行うことが重要であり、地域や学校の実情に応じて、学校医や科学的な知見を有する専門医等の外部講師の協力を得たり、がん経験者等の協力を得たりすることが大切である。

外部講師を活用したがん教育の進め方の基本方針

- ①講師の専門性やこれまでの経験が十分に生かされるよう工夫する。
- ②学校教育全体で健康教育の一環として行う。
- ③発達段階を踏まえた指導を行う。

【外部講師を活用した授業の実施ポイント】

- 学校が主体となって企画・運営を行う。
- 核となる教員や授業を担当する教員だけが関わるのではなく、全ての教職員の共通理解のもとに進める。
- 学校での取組内容を保護者や関係機関などに周知・共有することにより、連携体制を構築する。
- 年度当初の職員会議等で、「学校保健計画」に基づき外部講師を活用したがん教育の開催予定を周知するなど、情報を共有する。

8

10

学校におけるがん教育の手引

3 外部講師を活用した授業の実施の手順（例）

	学校内	関係者との調整
企画	保健主事、授業を担当する保健体育教諭、学級担任等を中心に核となる教員を決め、関係教職員と連携し、外部講師を活用したがん教育を企画する。 「がん教育外部講師リスト」 (北海道教育委員会)	外部講師と連携したがん教育の企画に合わせて、関係機関に講師の派遣を依頼する。 ・事前打診 ・正式依頼状送付 ・打合せ日程調整 ・謝金や交通費についても、事前に確認しよう。
打合せ	「がん教育外部講師リスト」を活用し、各学校から外部講師に依頼する場合 「がん教育外部講師リスト」の中から依頼する施設を決め、事前に電話やメールなどにより、各施設に連絡した上で、様式1を提出し、申し込む。 外部講師の派遣等の調整を健康・体育課に依頼する場合 様式2に必要事項を記入し、メールで健康・体育課に送付してください。健康・体育課は「がん教育外部講師リスト」に掲載している施設との調整を行い、各学校へ様式3により案内する。	外部講師と当日の指導内容や指導に向けて、教職員の共通理解を回り、実施内容について話し合う。 また、事前事後の学習内容がわかる資料や教科書、がん教育に関わるビデオ、パンフレットなどを準備し、外部講師との打合せに備える。 ※様式4を活用し、打合せ内容を学校と外部講師で共有しましょう。 ※配慮が必要な事項（p.7）について、具体的な配慮の方法など情報を共有しましょう。

11

(様式4)

がん教育事前打合せシート

日時及び場所	令和 年 月 日 () : ~ :	
事前指導内容 (指導済み)	☐ がんとは ☐ 日本（北海道）におけるがんの現状 ☐ がんの経過と様々ながんの種類 ☐ がんの予防 ☐ がんの早期発見とがん検診 ☐ がんの治療法 ☐ がん治療における緩和ケア ☐ がん患者の「生活の質」 ☐ がん患者への理解と共生 ☐ がんの体験 ☐ その他 ※備考に記入。	
事前・事後学習 (指導内容)	事前:	事後:
未時のねらい (指導の重点)		
授業概要 (主な学習活動)	講師の方へお願いしたいこと	
児童生徒の実態及び必要な配慮		
授業当日までに準備すること		
<学校>		
<外部講師>		

(北海道教育庁健康・体育課 がん教育等外部講師連携支援事業)

17

【令和5年度作成のオンデマンド教材】

1 がんという病気	「がんという病気」、「がんのしくみと予防」 「がん教育動画 onちゃんと学ぼう!」
2 我が国におけるがんの現状	
3 がんの経過と様々ながんの種類	「こどものいのち～小児がんを例にとって～」
4 がんの予防	「がんのしくみと予防」
5 がんの早期発見とがん検診	
6 がんの治療法	「がん遺伝子パネル検査」
7 がん治療における緩和ケア	
8 がん患者の「生活の質」	
9 がん患者への理解と共生	「がんから学んだこと」 「がんの体験、命の大切さ」 「つながりは“生きる”ちから～私のがん体験」 「『がん』を正しく知ると怖くなくなる」

がん教育推進のための教材(令和3年3月一部改訂 文部科学省)

12

オンデマンド教材

【令和6年度作成のオンデマンド教材】

2 我が国におけるがんの現状	北海道保健福祉部健康安全局 地域保健課がん対策係
4 がんの予防	
5 がんの早期発見とがん検診	
6 がんの治療法	公益社団法人北海道看護協会 (医療法人湊仁会手稲湊仁会病院教育研究 センター看護部) がん看護専門看護師
7 がん治療における緩和ケア	
8 がん患者の「生活の質」	

がん治療はバランスで考える



どんな
良い効果
があるのか

例えば・・・
腫瘍が小さくなる



どんな
悪い効果
があるのか

例えば・・・
副作用で寝込んで
しまう

がん治療は、
「がんを治す」ことだけでなく、
「自分らしい生活を守る」視点も大切

「がん患者さんの『生活の質』を考えよう 自分らしく生きること」

14



治療をしながら
趣味を楽しむ

気分転換しながら
過ごす



身体を動かして
リフレッシュ

がんになっても 「自分らしく生きる」

がんと診断されても、
「仕事を続けられる！」
「好きなことを楽しめる！」

副作用への対策や生活の工夫で、
自分らしさを保ちながら
日々を過ごすことができます。

それが
「QOL（生活の質）を大切にする」
という考え方です。

「がん患者さんの『生活の質』を考えよう 自分らしく生きること」

15

がんのリスクを減らすために

喫煙・受動喫煙・飲酒・食事（野菜不足、脂肪のとりすぎなど）・運動不足など

感染対策

細菌・ウイルス

生活習慣

遺伝的原因

がん検診を受ける

今、自分にできることを
心がけることが大切

「がんの予防と検診について」 16

本道における年齢調整罹患率（人口10万対）

○男女とも肺がん罹患率は全国で最も高い

全部位男女計：413.0(387.4) 46

男性：472.3(445.7) 37					女性：375.5(346.7) 47				
1位	大腸がん	43	78.9	(73.2)	1位	乳がん	45	107.4	(100.5)
2位	肺がん	47	72.2	(61.9)	2位	大腸がん	44	49.3	(44.9)
3位	前立腺がん	21	66.9	(68.2)	3位	子宮がん	32	35.7	(34.3)
4位	胃がん	15	59.7	(63.4)	4位	肺がん	47	31.7	(26.1)
5位	腎臓がん	46	21.4	(17.8)	5位	胃がん	16	21.5	(23.1)

□囲み数字は死亡率(人口10万対)に係る全国順位
()内は全国値「がんの予防と検診について」 17

資料5

がん教育研修会の開催状況について

【日時・会場】令和6年11月7日（木） 北海道本別高等学校

【参加者】集合：30名、オンライン55名（内、保健福祉部局16名、がん経験者等5名）

○アンケート結果 ※37名回答

項 目	5:大変 役立った	4:おおむね 役立った	3:どちらとも いえない	2:あまり 役立たなかった	無回答
説明「本道におけるがん教育について」（健康・体育課）	11人 (29.7%)	20人 (54.1%)	6人 (16.2%)	0人 (0%)	0人
説明「北海道におけるがんの現状」（道保健福祉部）	16人 (43.2%)	19人 (51.4%)	2人 (5.4%)	0人 (0%)	0人
公開授業「外部講師を活用したがん教育の授業」	22人 (59.5%)	13人 (35.1%)	2人 (5.3%)	0人 (0%)	0人
実践発表 (中春別中学校、本別高校)	22人 (43.2%)	13人 (45.9%)	2人 (8.1%)	1人 (2.7%)	0人
講演「学校におけるがん教育の実践例」	19人 (51.4%)	15人 (40.5%)	3人 (8.1%)	0人 (0%)	0人
交流	20人 (54.1%)	11人 (29.7%)	6人 (16.2%)	0人 (0%)	0人

※全ての項目において「1:まったく役立たなかった」の回答はなし

18

がん教育等外部講師連携支援事業連絡協議会

・令和6年度は2回開催（9/5、2/5）

・協議会での主な意見

- ☐ 道内におけるがん検診受診率や喫煙率等、現状の周知が必要
- ☐ オンデマンド教材や手引の学校への周知が不十分
- ☐ 外部講師を活用したがん教育実施の意欲がある教員への支援が必要

⇒ 外部講師と連携したがん教育推進のため、教職員の理解の促進に努める

- ・教職員対象のオンラインセミナーの実施
- ・研修会等でのがん教育に係る情報提供

札幌市内がん診療連携拠点病院”学校がん教育”連絡会議 2024年度講師派遣・調整実績

	依頼受諾日	調整依頼元	派遣日時	派遣先学校	講師名	職種	所属
1	2024/4/5	札幌市保健福祉局	2024/7/19	常磐中学校	小嶋 一	医師	手稲溪仁会病院
2	2024/5/16	札幌市保健福祉局	2024/8/29	みどり小学校	西田 靖仙	医師	恵佑会札幌病院
3	2024/5/28	札幌市保健福祉局	2024/11/25	新陵東小学校	安部 樹太朗	医師	北海道大学病院
4	2024/5/31	札幌市保健福祉局	2024/9/4	澄川南小学校	千田 ルミ子	看護師	札幌厚生病院
5	2024/6/3	札幌市保健福祉局	2024/10/23	ひばりが丘小学校	西田 靖仙	医師	恵佑会札幌病院
6	2024/6/4	札幌市保健福祉局	2024/10/8	芸術の森小学校	瀧川 千鶴子	医師	KKR札幌医療センター
7	2024/6/6	札幌市保健福祉局	2024/12/11	真駒内桜山小学校	磯部 宏	医師	KKR札幌医療センター
8	2024/6/12	札幌市保健福祉局	2024/10/17	美園小学校	小野 聡子	看護師	札幌医科大学附属病院
9	2024/7/18	札幌市保健福祉局	2024/11/21	新陵小学校	谷村 夏姫	医師	手稲溪仁会病院
10	2024/7/19	札幌市保健福祉局	2024/11/26	西小学校	大須賀 崇裕	医師	札幌医科大学附属病院
11	2024/7/29	札幌市保健福祉局	2024/10/31	豊園小学校	磯部 宏	医師	KKR札幌医療センター
12	2024/9/6	札幌市保健福祉局	2025/1/24	市立札幌豊明高等支援学校	西田 靖仙	医師	恵佑会札幌病院
13	2024/9/12	札幌市保健福祉局	2024/12/3	宮の森小学校	磯部 宏	医師	KKR札幌医療センター
14	2024/11/21	札幌市保健福祉局	2025/3/11	新札幌わかば小学校	阿部 香澄	看護師	KKR札幌医療センター
15	2025/1/15	札幌市保健福祉局	2025/1/31	盤溪小学校	原田 紘子	医師	市立札幌病院

講師派遣年度別実績

	医師	看護師	医師・看護師以外の 医療従事者	がん体験者	計
2021年度	5	0	1	0	6
2022年度	11	1	1	0	13
2023年度	12	3	1	0	16
2024年度	12	3	0	0	15

2024 年度がん教育における外部講師派遣事業

外部講師派遣校 計 12 校

派遣日	派遣先学校	学年	人数
2024 年5月 29 日	静内農業高校	1年生	48名
2024 年 9 月 26 日	東苗穂小学校	6年生	25名
2024 年 10 月 24 日	北竜町立北竜中学校	3 年生	18名
2024 年 10 月 25 日	滝川第一小学校	6年生	30名
2024 年 11 月 7 日	本別高校		32名
2024 年 11 月 12 日	秩父別町立秩父別中学校	3年生	
2024 年 11 月 15 日	鹿追高校	1年生	74名
2024 年 11 月 15 日	茨戸小学校	6年生	32名
2024 年 12 月 13 日	前田中央小学校	6年生	80名
2025 年 2 月 27 日	深川市立深川中学校	3年生	60名
2025 年 3 月 5 日	深川市立一巳中学校	2年生	70名
2025 年 3 月 10 日	深川東高校	1年生	25名